



佐々木大三郎 議員  
(清風会)

一問一答  
方式

## 農業振興に向けた 取り組み方針は

**問** 農業生産100億円達成アクションプランについて、最近あまり耳にしなくなっているが、今後の取り組み方針は。

**答** 「100億円達成アクションプラン」を引き継いだ計画が現在の「タフ・ビジョン」である。100億円達成は非常に厳しい状況にあるが、今後も生産額に目標値を持ち続け検証と改善策を講じな

がら進めることが大事であり、目標達成に向けて取り組んでいきたい。

**問** 農家の所得向上のためには、遠野産品のブランド化と販路拡大が喫緊の課題と考えるが。

**答** JA系統の販売ルートは市場から卸業者への広域的スケールを生かしたブランド品として販売し、JA系



アストパワーアップ事業の重点品目『ニラ』

統外はわさびやヤマメ等の特産品として販売している。また、アストパワーアップ事業では重点品目(ピーマン・アスパラ・ニラなど)を設け、生産と販路拡大支援を行っているが、これまで以上に生産現場へ足を運び関係機関一体となってブランド化や所得向上に努める。

**問** 市と県・JAの同一フロア化による課題解決や成果向上のためには、三者間の情報共有と連携・棲み分けが重要では。

**答** JA組合長や関係者と定期的に会談し、情報共有や課題解決に向け農業振興策の確認を行っている。JAの営農振興計画についても両者で摺合せを行い、農家に反映・実践でき

るような連携と棲み分けを行っている。

**問** 地域農業マスタープランに関わる遠野型農業の今後の進め方は。

**答** 市と県・JAが連携し「地域農業マスタープラン」作成支援チームを立ち上げ、広報遠野や遠野テレビ各種会合、座談会の機会をとらえ制度内容の周知に努めている。また、農家へのアンケート調査により将来の農業経営に関する意向を確認しながら農地の集約や担い手、新規青年就農者の拡大にも努める。

### 【その他の質問】

農業水産業に関わる予算比率は年々減少傾向にあるのでは。